

平成21年9月3日

国立病院機構仙台医療センター

担当（問い合わせ先）
仙台医療センター
事務部 管理課長 宗像 広
電話 022-293-1111

国立病院機構仙台医療センターのサリドマイド製剤誤投与について

1. 概要

8月20日国立病院機構仙台医療センターにおいて、別の患者に対しサレド（サリドマイド製剤：抗多発性骨髄腫剤）1カプセルを誤投与したものの。

【患者情報】

患者A（投与すべき患者） 50代 男性 多発性骨髄腫・肺炎

患者B（誤投与された患者） 50代 男性 他疾患

2. 事故経過

- ① 8月19日（水） 患者A：入院（消化器科病棟）
- ② 8月20日（木）
 - ・ 20時30分：患者Bに対し「サレド」1カプセルを投与。
⇒ 空のカプセルシートを廃棄
 - ・ 21時00分：患者Aの病室へ訪問の際、患者Bに対し誤投与が判明。
- ③ 8月21日（金） 患者A：転棟（血液内科病棟）
- ④ 8月28日（金）
 - ・ 空のカプセルシートを廃棄していることが判明。
 - ・ 薬剤科を通して製薬会社に報告

4. 原因

現在詳細は調査中

- ・ カプセルシートの名前と患者氏名を確認すべきところ怠ったため

5. 患者への対応

- ・ 事故直後、患者Bに対し、誤投与について謝罪するとともに経過観察を行うことを説明。
- ・ 健康被害は見られていない。

6. 再発防止策に向けた今後の対応

- ・ 全職員を対象に研修会を実施する
- ・ マニュアルに従って投薬時患者確認を徹底する
- ・ オーダリングシステムの患者情報画面にサレド服薬中の有無である情報を明示させる。